

第6次横瀬町 総合振興計画 後期基本計画（令和6年度～令和9年度）

について意見募集結果を公表します。

町では、標記計画に関するパブリックコメントを以下のとおり実施しました。

貴重なご意見をいただいた皆様には感謝申し上げます。

提出いただいたコメントの内容、コメントを考慮した結果及びその理由を以下のとおり公表します。

1. 実施概要

(1) 実施期間 令和6年1月31日（水）～2月19日（月）

(2) 周知方法 町ホームページでの掲載

(3) 提出者数 3者

2 コメントの内容、コメントを考慮した結果及びその理由

ページ	コメントの内容	コメントを考慮した結果及びその理由
【提出者1】 24ページ	⑦の柱 人の輪づくり 取り組む主な施策 8つの取り組みの中で、社会教育や生涯学習という言葉がなく、公民館や図書館の社会教育施設にも言及がない。7番と8番は、社会教育の中の施設の一部で、一番の柱となる「社会教育」「生涯教育」は入れるべきと考える。	ご指摘を踏まえ、(6)として以下の文書を追記しました。それによって(7)が(8)に、(8)が(9)になります。 (6) 生涯教育（社会教育団体、町民会館、公民館、図書館）の支援を図ります。
【提出者2】 9ページ	（提出者の考える）問題提起 1. 移住後の出産子育てにおいて、親族が周りにいない環境での不便さや孤立感がある。 2. 仕事をしながらの子育てにおいて、保育時間の制	本計画にあたっては素案のとおりとし、コメントにつきまして

	<p>約や頼る人の不在が課題となる。</p> <p>3. 不妊治療を希望する人が増えており、地域内での体外受精施設の不足が指摘されている。</p> <p>4. 不妊治療や出産後の子育てに関する精神的負担が大きいことが挙げられる。</p> <p>5. 子育てに対する不安から、移住したい人が抱えている課題がある。</p> <p>提案者の考え</p> <p>1. 地域社会での親子サポートネットワークの強化や、地域住民による支援グループの設立など、親族の代替となる支援体制の整備が必要。</p> <p>2. 企業や自治体による柔軟な働き方や保育支援制度の導入など、仕事と子育ての両立支援策が必要。</p> <p>3. 不妊治療施設の充実や、地域内での専門医の確保など、不妊治療に関するインフラの整備が求められる。</p> <p>4. 不妊治療や出産後の精神的支援の強化や、地域内の小児医療機関の充実が重要。</p> <p>5. 子育て支援施策や地域コミュニティの活性化により、移住希望者の不安解消と定住促進を図る必要がある。</p>	<p>は、今後の施策の中で可能な限り対応を進めていきます。</p>
<p>【提出者 3】</p> <p>5 ページ</p>	<p>今回の後期計画（案）は、2020年の計画に対して（5）横瀬町とウェルビーイングが追加され「7つの柱ごとのウェルビーイング指標が示されました。</p> <p>また、7つの柱の文言の、1, 2, 3, 5, 7の柱には、これらの文言が織り込まれました。</p> <p>⇒多様な幸せが花開くカラフルタウン（ウェルビーイングな横瀬町）の実現に向けて、皆の想いがシンクロするようになり素敵なことだと感じます。</p> <p>1.（イラストについて）カラフルタウンのイメージとして従来の武甲山が、カラフルな立方体になりました。多種多様なキュービックを積み上げていくことをイメージされたかもしれませんが、無機質でやや冷たく感じます。</p> <p>⇒繭玉やチチブイワザクラなどをモチーフにして有機的で温かみのあるものにしてはいかがでしょうか。</p>	<p>本計画にあたっては素案のとおりとします。ウェルビーイング指標の導入、施策の推進は後期計画における大きなチャレンジとなります。貴重なコメントを頂きましたので、実施計画に適正に反映させ施策を推進していきます。</p>

<p>26 ページ</p>	<p>2. 7つの柱の施策の具体化に向けて</p> <p>横瀬町は、他の自治体の総合計画のように行政主導の具体策まで落とし込んでいないことが特徴です。それゆえに、変化の激しいVUCAの時代を乗り越えていける柔軟な施策展開が可能となります。</p> <p>そのためには、ここで示された基本的な方向性に沿って、住民の皆さんが自分ごととして捉え、対話しながら、行政や企業・団体などと連携し、考え行動に移していくことが大切です。</p> <p>⇒その意味で、「7つの柱を育てる土台」～計画を支えるために、というP26の控えめな言い方ではなく、もっと前の方で...「7つの柱の実現に向けて」～住民と行政の協働が大切です”対話を繰り返しながら、このまちを一緒につくっていきましょう”...云々のようなページを加えたら如何でしょうか？</p>	
<p>9 ページ</p>	<p>3. ①の柱 人づくり</p> <p>横瀬町は早くから学校で「幸福の4つの因子を学び、ウエルビーイングなまちの土壌ができています。これをさらに進めて、子どもたちを中心にしながら、概念の共有化が進んだらよいと考えます。</p> <p>⇒子どもたちが生き生きとくらしていける町を目指して一人一人の幸せな生き方とかカラフルタウンなどについて話し合う場をどんどんつくっていったらいかがでしょうか</p> <p>例：子育てサロン/幼児教育や児童館/子どもや保護者の集まり/アフタースクールなど</p>	
<p>17 ページ</p>	<p>4. ④の柱 産業づくり雇用づくり</p> <p>有休農地が増え続けていますが、食料自給率低い日本は農地を活かし続けていく（こと）が大切です。</p> <p>過疎化に歯止めをかけるためにも、従来の延長の施策とは別に、新たな取組みを進めていったら良いと考えます。</p> <p>⇒遊休農地を活かした「有機協働農業」や「協生農法」を促進し、都会の人たちも呼び込み一緒に農業を進めるとともに、町の新たな魅力を発信する。(寺坂棚田の活動をさらに広げていくことにも繋がります)</p>	

21 ページ	<p>5. ⑥の柱 景観環境づくり</p> <p>2 取り組む主な施策</p> <p>「町内外の方々が集まる魅力に溢れ、快適で美しく、町民が誇りに思えるような公園づくりを目指します」という文言がありますが、これをさらに進めて、他ではまねできないものにチャレンジしたらいかがでしょうか</p> <p>⇒例えば、ウェルビーイングを意識した公園とか、ウェルビーイングの小路を作って、横瀬をウェルビーイングの聖地にする。</p> <p>この小路をウォーターパークや寺坂棚田、さらにオープンガーデンと繋げる遊歩道にしたらさらに素敵なものになります。</p> <p>「廃棄物からの資源再利用・再資源化促進などのごみ4Rのための啓発活動」を挙げていますが、これをさらに進めて焼却に膨大なエネルギーを消費する環境に悪い生ゴミを出さないまちにしたらいかがでしょうか。</p> <p>⇒各家庭にコンポストを置き、生ゴミを液肥に変換して循環型の暮らしを得るといった積極的なアクションを進めたらいかがでしょうか</p>	
--------	---	--